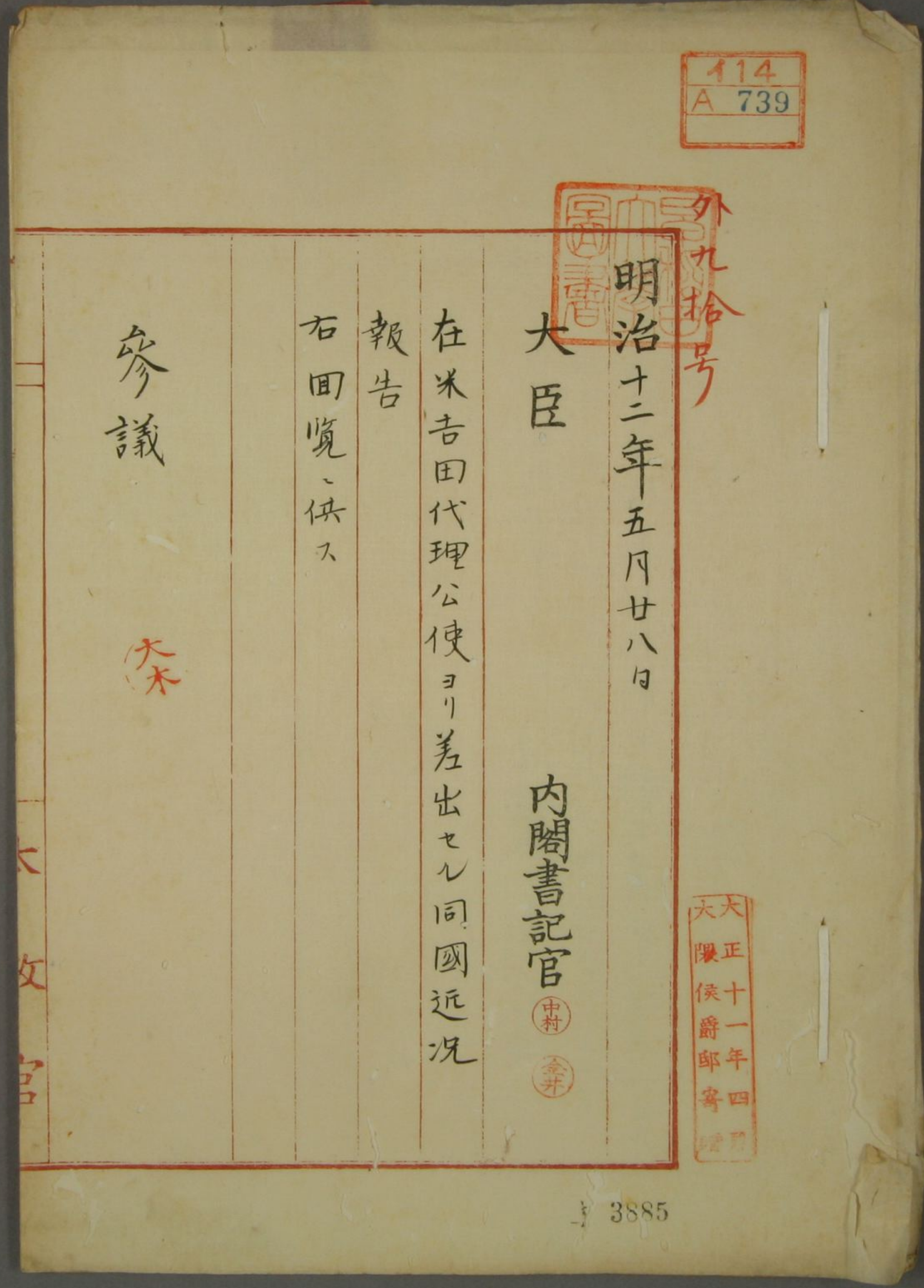
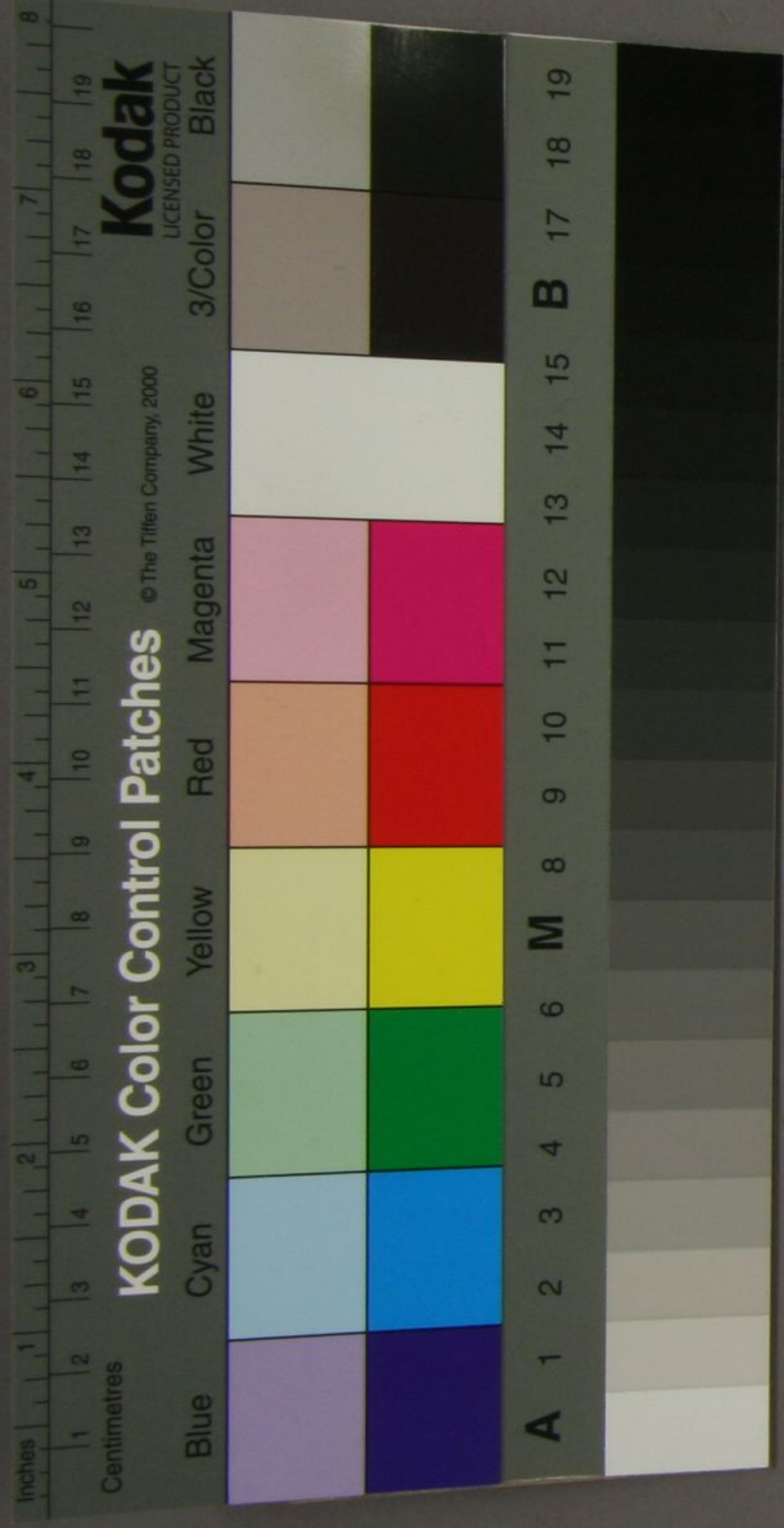




乙卯年七月

在東去田臨時代理以傳不名山在月北言
時月全近況報為以一說也創其意仕也
十二年九月廿七日 外務省古島宗則

古島宗則三條實美殿



米國近況報 明治十二年四月廿日 發

件目

一 ミヅリ 河沿岸地方黑人カンガス州へ移轉
ノ景況

一 白露國ホリウヤ國チリ 國交戦ノ新報

ミヅリー河沿岸地方ノ黒人カンガス州へ移籍ノ

景況

曾テ南方諸州ニ通行セル奴隸ノ制法廢止以來該地
方ニ在ル黒人ノ身上ニ莫シ不快ノ事情生ラレム之カ
為今ヲ距ル四年前ニ方リニ群ノ黒人ラニミシメテ
去リカンガス州ニ移レリ其後其移民カ該州ニ在リテ
享有スル所ノ有様ヲ聞知スルヨリ候メニ方ラ移サレ
トスルノ情狀ヲ懷クモノ、數漸ク増加セリ然レモ此等
件近時ニ至ルマデハ概列世トノ注目ヲ要スル程ニハ非
ラガリシカ去月以來テンミシメテメシムビメレイジ
ヤナメヲ離レ「カンガス州ニ移ラントノ目的ヲ以テ流
船ニテミヅリー河ヲ闊リシントルイス存ニ着スルモ

ノ既ニ七千ノ多ニ至リ而シテ世輩ハ孰レモ極ナリ
貧乏ナルヲ以テ北方移州ノ人民中斯ク不幸ノ人
民ヲ憐ミ食料或ハ金銀等ヲ授與スルモノアリ或ハ
西方移州ノ農家ニ使役セシガ爲メ種々ノ便法ヲ採
ルモノアリ而テ斯ク移州スルモノ、殆ど千ニ至ルベ
キカ今日ニ於テ之ヲ協定スルヲ欲ワスト雖ハ漸ニ
重大ノ問題トナリ世上一般ノ注目スル所トナレリ
斯ク他處ニ移州スルノ原由ヲ尋ズルニ大要ハ二述
ルガ如シト云フ乃チ曰至人等ハ孰レモ耕地ニ在リ
而シテ以テ黒人奴隷ノ執ヲ脱セシ以來旧主人ヨリ地
面ヲ借り之ヲ小作セサルヲ得ス然レモ當時ハ新
平民ハ農具其必要ノ物品ヲ購求スベキ資本ナ
シ故ニ多クハ作物ノ收穫ヲ檢当トシ借金ニテ右

需用品ヲ買入レ本郷或ハ其他ノ作物ヲ培養セリ
而シテ其收穫スル所ノモノヲ低廉ニテ賣却シ此賣
上高ヨリ前ニ借金ニテ買入レタル物品代ヲ仕拂フ
片ハ耕土ノ年ニ存スル餘剩ヲク或ハ前ノ負債日
ヲ全ク返済スルヲ能ハサルモノアリ而テ四時ノ作
モ往々ニ隔スルト云フ又其ニハ曾テ奴隷法ノ行ハ
レカリシ地方ニ移リ其社會ノ地位ヲ進歩セシメ
トノ意ニ出ナリト云フ

今日ニ至リ南方ノ農家ハ若シ新ク黒人ノ移州
スルヲ休マサル片ハ本郷砂糖等ノ培養上ニ障
アルヲ以テ大ニ苦心スルモノ、如シ又南方地方ノ
情態ニ鑑みタル人ノ所見ニ據レハ若シ此種住居
止セサル片ハ該地方ノ衰廢ニ至スルヲ僅少ナラサ

ルベシトノ新聞アリ

今海軍人ノ職務ヲ抑止セントノ目的ヲ以テル井ジャ
ナ州ミシシツビ人ノ中至タル學員其氏五月
五日ヲ以テウツキスボルケ存ニ集會シ此後抑ヲ
停止シ且此後ヨリ生ゼシ作主ノ欠乏ヲ補正ス
ルノ便法ヲ討議セシラ廣告セリモ白黒兩種
トモニ其代名ヲ選ミ此會後ニ共カラシメントノ意
ナリト云フ

白露國ボリウ井ヤ國テリ一國交戰ノ新
報

白露國ハボリウ井ヤ國ト合從シ本月二日チリ
一國ニ對戰ノ一ヲ告知セル旨ヲ報道紐ナリ
ビエーン其他ノ新聞ニ記セリ右兩國合從宜戰
ニ至リシ原由ハ大畧左ノ如シト云フ曾テチリ
一國ヨリ或ル地方ヲボリビヤ國ニ讓與シ該地
方ニ在ルチリ一人民ニハ諸稅ヲ賦課スベカ
ガル一ヲ約セリ此約ニ拠リボリウ井ヤ國政府
ハ賦稅ヲ免除セリ然レチリ一商會ノ所有ス
ル硝石製造場ヲ官ニ没入セリ是ヲ以テチリ一
國ハ此処置曲直ヲ兵ニ訴フルニ至レリ而シテ

白露國ハ中保ヲ倣サレテ務ムト雖兀々リ
國ノ之ヲ納レザルヨリ終ミホリウ井ヤ國ト合
從セリト云フ